

オープンエデュケーションと 大学経営を考える

2013年12月2日(月) 13:00~

会場: ホテルグランヴィア大阪

最近、多くのマスコミで欧米におけるMOOCに代表されるオープンエデュケーションのムーブメントが紹介され、脚光を浴びています。マスコミの伝えるオープンエデュケーション像は「大学を超える優れた高等教育を提供する無料のサービス」といったものに集約されると思われます。

そのため、われわれの中にもオープンエデュケーションは「大学の淘汰や再編をもたらすもの」というイメージが培われているように感じます。しかし日本において、こうした問題はまだまだ未整理な状況にあると考えます。

本シンポジウムでは、オープンエデュケーションが日本の大学の在りかたや経営にもたらすプラスとマイナスの両方の影響を整理・検討し、今後の大学の在りかたや情報化の行方を考えていきます。

オープンエデュケーションに希望をもたれている方、あるいは危機感を持たれている方のご参加をお待ちしております。

開催日時

2013年12月2日(月) 13:00~17:00 *受付 12:45から
(情報交換会 17:00~19:00)

参加費

参加費無料

※情報交換会は会費制 (CAUA会員・大学教職員…¥1,000、その他の方…¥2,000)

定員

70名(事前申込み制)

お申込方法

[Web] <https://ctc-form.jp/public/seminar/view/140>
[FAX] 所定のFAX申込書にご記入の上、CAUA事務局宛にFAX下さい

主催

CTCアカデミックユーザーアソシエーション (CAUA)

会場案内

ホテルグランヴィア大阪
20階 名庭B

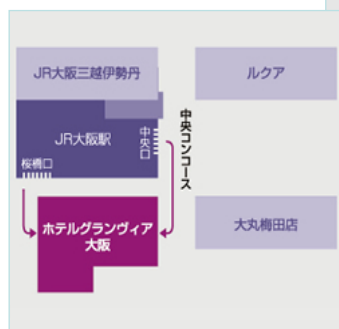
住所 大阪市北区梅田3丁目1番1号

電話 06-6344-1235(代)

交通アクセス

JR大阪駅構内から直結 (JR大阪駅中央改札を出て右手すぐ)

地図 <http://www.granvia-osaka.jp/guide/map.html>



プログラム

「オープンエデュケーションと大学経営を考える」

| | |
|-------------|---|
| 13:00-13:10 | 【開会挨拶】 鈴木浩充氏（東洋大学、CAUA運営委員） |
| 13:10-14:10 | 【基調講演】 重田勝介氏（北海道大学 情報基盤センター 准教授） 「オープンエデュケーション・MOOCsと大学の選択」 情報通信技術の発達に伴い、インターネット上で教材や教育環境を公開し学びの機会を拡大する活動「オープンエデュケーション」が盛んです。OCWやOERなどのインターネット上における教材の無料公開、MOOCsと呼ばれる大学レベルの教育環境をオンラインで提供する試みも活発です。デジタル化・オープン化が進み変化する社会において、大学は自らの価値を高めるために何を為すべきなのでしょう。本講演ではオープンエデュケーションの可能性と課題を踏まえ、未来の高等教育のあるべき姿について議論します。 |
| 14:20-15:50 | 【パネリスト発表1】 山田 恒夫 氏（放送大学 教授、JMOOC、AXIES-csd） 「MOOCの進化と質保証」 日本においてもMOOCの提供が始まった。大学にとってMOOCはどのような意味をもつのか、MOOCの発展段階ごとにその可能性を論考する。大学にとってのいくつかの論点、たとえば、MOOCのプロバイダーをめざすのかその利用者にとどまるか、オンラインコース（遠隔教育）として利用するか反転授業を含めた対面授業の一部あるいはブレンディッド型として組み込むか（例、単位の実質化の手段、従来の紙の教科書に代わる「マルチメディア電子教科書」）、正規教育の一部として取り入れるか広報や地域貢献を主にターゲットにした非正規教育にとどまるか、などは、MOOCの質保証、MOOCがコースとしての品質を有するか、その認証制度について社会的合意が形成され、大学そして社会（産業界）の受容可能なものになるかに依存する。本論では、11月に設立された日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）を紹介しながら、日本版 MOOCの質保証を左右する要件を、システム・ツール、学習資源・情報基盤、教授法、認証・認定の観点から考察する。 |
| | 【パネリスト発表2】 堀 真寿美 氏（NPO法人CCC-TIES 企画室長） 「MOOCの次に来るもの」 米国では、Post MOOCという議論が、ここ数ヶ月で急速に進んでいる。この一年ほどの間、大学はMOOCによって取って代われ、消えてしまうのでは無いかという議論がなされる一方で、それに対する軋轢も発生し、大学教員がMOOCの受入を拒否すると言った事態も生じている。Post MOOCでは、このような傾向はますます強くなるだろうか。我々は、現在 Post MOOCを意識した学習統合環境（VLE）の開発を進めており、今回は、その立場から、Post MOOCのもたらす大学への影響を考察する。 |
| | 【パネリスト発表3】 榊原 康貴 氏（東洋大学 総務部 広報課 課長） 「大学通信教育とオープンエデュケーション」 大学通信教育は、昭和25年に認可されました。何らかの事情により通学できない方を中心に、60年以上の歴史を重ねている大学の正規の教育課程です。そのコンセプトは、「いつでも、どこでも、だれでも」。まさにオープンエデュケーションのコンセプトと一緒です。本講演では、以前私が担当していた通信教育事務運営の中で感じていた諸課題の共有を目的として、オープンエデュケーションを考える上での参考にいただければ幸いです。 |
| 16:00-16:50 | 【パネルディスカッション】 「オープンエデュケーションと大学経営を考える」 コーディネータ 小野成志氏（武蔵学園理事・情報システム部長、CAUA監事） パネリスト 重田勝介氏（北海道大学 情報基盤センター 准教授） （発表順） 山田恒夫氏（放送大学 教授） 堀真寿美氏（NPO法人CCC-TIES 企画室長） 榊原康貴氏（東洋大学 総務部広報課 課長） |
| 16:50-17:00 | 【閉会挨拶】 後藤滋樹 氏（早稲田大学教授、CAUA会長） |
| 17:00-19:00 | 【情報交換会】 講師との質疑、参加者同士の情報交換の場としてお役立てください。 会費：CAUA会員・大学教職員…¥1,000、その他の方…¥2,000。 会場：ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭C |